国立大学法人帯広畜産大学　農業共生圏高度専門家育成事業

令和元年度 野生生物保全管理講習会　募集要項

人の活動は様々な面で野生生物に影響を与えており、種の減少・絶滅の主な要因となっています。一方で、野生生物による農畜産物への被害等、野生生物が人の活動に与える影響も少なくありません。特に十勝地方は農畜産業を基幹産業としており、人と野生生物がどのように関わっていくべきかが大きな課題となっています。

国立大学法人帯広畜産大学は、北海道の基幹産業である農畜産業を始めとする経済活動と、自然生態系における生物の多様性を両立し、農業生態圏と自然生態圏の共生を実現できる「農業共生圏高度専門家」の育成を目指し、以下の内容で講習会を実施します。

なお、この講習会は、環境コンサルタント等の民間企業や野生生物の保全管理を担当する行政機関の職員と合同の研修となります。野生生物の保全管理に関する知識や技術の習得のみならず、社会人と交流することにより、就職観の醸成と関連業態が求める人材について理解が深まることを期待しています。

１．対　象　者：　本学に所属する学部３年生から大学院生のうち、野生生物関連の職種へ就職を検討する学生

２．募 集 人 員：　実技を含む全日程に受講を希望する場合　１０名（申し込み多数の場合抽選）
※座学のみの参加については定員を定めませんが、事前の申込が必要です。

３．講 習 内 容：　座学及びフィールドでの実技を通じて野生生物の保全管理に関する正しい知識と技術を習得する。

４．目指す人材像：　人間の経済活動と生物多様性が両立した農業共生圏の実現に向けて、野生生物の保全管理に関する基本的な知識と技術を持つ人材の育成を目指します。

５．本講習会を受講することで期待される効果：

（１）野生生物の保全と管理に関して、企業が求める幅広い基礎知識・基礎技術の習得

（２）グループディスカッションを中心とした講義を受講することによる、コミュニケーション能力と合意形成能力の向上

（３）民間企業や行政機関の担当者が求める知識・技術を共に学ぶことで、自身が検討する進路に対する理解の向上

６．修 了 認 定 等：　全日程を受講された方には、国立大学法人帯広畜産大学が発行する「野生生物保全管理講習会修了証書」を授与します。
※座学のみ参加の場合、修了証書は発行されません。

7．開 講 日 時：　１０月２３日（水）１０：３０～１７：３０
１０月２４日（木）　８：００～１７：５０
１０月２５日（金）　９：００～１７：００

8．実 施 場 所：　帯広畜産大学総合研究棟Ⅰ号館　Ｅ２５０３会議室　他

9．講義日程等：　別紙１及び２をご参照ください。

10．受　講　料：　無料

11．申 込 方 法：　本要項にある二次元コードもしくは下記URLの申し込みフォームからお申込みください。
https://www.obihiro.ac.jp/biodiversity
申し込みフォームからのお申込みができない場合、受講申込書を事務局までメールでお送りください。

全日程受講希望者用
申込フォーム

選択受講希望者用
申込フォーム

12．募 集 期 間：　令和元年７月１６日（火）から８月９日（金）１７時まで

13．事 務 局 ：　〒０８０－８５５５　帯広市稲田町西２線１１番地
国立大学法人帯広畜産大学　国際・地域連携課
TEL：０１５５-４９-５７７６　　E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp

15．そ　の　他：　大学院生の方は、必ず指導教員の了承を得て参加してください。
学部生の方は、本講習会参加によって授業を欠席する必要がある場合、事前に授業担当教員に断って参加してください。
実技をともなう講義を受講する学生には、講師の補佐をお願いすることがあります。

【個人情報の取扱いについて】
（１）国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
（２）応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

別紙１

講義日程

日程		時間	講義名	講師	分野
10/23（水）	10：30～11：30	1	オリエンテーション アイスブレイク	帯広畜産大学　柳川久	
	11：40～12：40	1	野生生物管理のための法律学	帯広畜産大学　野原香織 十勝総合振興局環境生活課	共通
	13：40～14：40	1	野生生物捕獲法	帯広畜産大学　浅利裕伸	共通
	14：50～15：50	1	データ解析入門	帯広畜産大学　赤坂卓美	共通
	16：00～17：30	1.5	十勝の野生生物と保全	帯広畜産大学　浅利裕伸 北海道ﾗﾌﾟﾀｰｺﾝｻﾍﾞｰｼｮﾝ　平井克亥	保全
	19：00～	情報交換会			
10/24（木）	8：00～12：00	4	野生生物調査法Ⅰ・Ⅱ	帯広畜産大学　浅利裕伸 帯広百年記念館　大熊勲	共通
	13：00～14：00	1	野外調査のリスク管理	帯広畜産大学　浅利裕伸	共通
	14：10～15：40	1.5	獣害防除学	株式会社地域環境計画	管理
	15：50～17：50	2	インタープリター学	株式会社自然教育研究センター	共通
10/25（金）	9：00～10：00	1	野生生物の交通事故	北海道開発技術ｾﾝﾀｰ　野呂美沙子	管理
	10：10～11：40	1.5	外来生物と生物多様性	帯広畜産大学　浅利裕伸	共通
	12：40～13：40	1	希少植物の保全	帯広畜産大学　佐藤雅俊	保全
	13：50～14：50	1	水生生物の保全	NPO 法人環境把握推進ﾈｯﾄﾜｰｸ	保全
	15：00～16：30	1.5	十勝の野生生物と管理	帯広百年記念館　大熊勲 北海道総合研究機構　山口英美	保全
	16：30～17：00		閉会式		

別紙２

講義内容（共通分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
オリエンテーション	本講習会の目的について説明するとともに、野生生物の保全と管理の必要性や考え方を紹介する。	座学	1h	○
野生生物管理のための法律学	「動物の愛護及び管理に関する法律」や「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」など、関連法規の基礎知識に加え、鳥獣捕獲の許可申請について、申請の流れや必要な添付書類、注意点を学ぶ。	座学	1h	○
野生生物捕獲法	野生生物の捕獲は個体数管理のためだけでなく、その地域に生息する種の把握や生態的特性を知るために必要な作業である。動物種の大きさに応じた罠を用いて、野生生物の捕獲方法について学ぶ。	実習	1h	×
データ解析入門	野生生物の調査で得られたデータを適切に整理し、保全や管理に活用するためのデータ解析に関する基礎的な方法について学ぶ。 事前に具体的な相談内容を受講者から聞き取り、その内容を踏まえた講義を予定しています。	座学	1h	○
野生生物調査法Ⅰ	野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（痕跡調査法、双眼鏡による観察）について学ぶ。	実習	2h	×
野生生物調査法Ⅱ	野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（地形図判読、自動撮影カメラ、テレメトリー法）について学ぶ。	実習	2h	×
野外調査のリスク管理	危険生物との遭遇や危険な場所での作業等、野外調査に伴う多くのリスクへの対応について、グループワーキングを交えて学ぶ。	座学	1h	○
インタープリター学	野生生物の保全管理を行う上で収集した情報（生態、個体数等）を的確かつ適切に活用するために、得られた情報を地域住民や顧客に対して効果的に伝達する手法を学ぶ。	座学	2h	○
外来生物と生物多様性	国内外の外来種問題を事例に挙げながら、外来種の侵入防止や拡大防止についてグループワーキングを交えて学ぶ。	座学	1.5h	○
		計	12.5h	

講義内容（保全分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
十勝の野生生物と保全	防風林は十勝を代表する農地景観であり、ここに生息する野生生物は土地改良などによる影響を受ける。大きな影響が懸念される「樹上性哺乳類」と「猛禽類」について、十勝における生態と保全の考え方を学ぶ。	座学	1.5h	○
希少植物の保全	希少植物の保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。事前に具体的な相談内容を受講者から聞き取り、その内容を踏まえた講義を予定しています。	座学	1h	○
水生生物の保全	ニホンザリガニや希少な両生類の生態や保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。	座学	1h	○
野生生物の交通事故	道路網の発達は人の生活を豊かにする一方で、野生生物の生息地を分断することで、野生生物と車両の事故原因の一つとなる。事故数が多いエゾシカやタヌキ等の交通事故の現状と対策を学ぶ。	座学	1h	○
		計	4.5h	

講義内容（管理分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
獣害防除学	農畜産業にとって獣害は経営に大きな影響を与えるものである。動物種や地域によってその被害や対策方法は異なるため、その生態や地形による課題を踏まえて罠や電気柵などの防除方法について学ぶ。	座学	1.5h	○
十勝の野生生物と管理	エゾシカやアライグマは十勝の農畜産業に対して大きな影響を与える。効果的な管理のため、これらの生態と被害の特徴、管理の考え方について学ぶ。	座学	1.5h	○
		計	3h	

令和元年度 野生生物保全管理講習会　受講申込書

野生生物保全管理講習会に下記のとおり申し込みます。

1．受講を希望する講義：　□　全講義受講

□　座学のみ選択して受講

（選択受講される方は、別紙 受講希望調書を併せてご提出ください）

2．氏名（ふりがな）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

3．性別・年齢：＿＿＿＿（　　才）

4．学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿

5．大学院専攻・コース・

指導教員（院生のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

6．課程・学年・ユニット

（学部生のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

7．自宅住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

8．メールアドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

9．携帯電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

10．現在検討している進路（業種、会社名、業務内容などあれば）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

11．10 月 23 日の情報交換会に参加　□　する　□　しない（どちらかにチェック）

※参加費は自己負担です。（4,000 円程度予定）

申込書送付先
国立大学法人帯広畜産大学国際・地域連携課
FAX：0155-49-5289　E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp

受講希望調書

（1）座学のみの受講を希望する方は、該当科目の受講希望覧に「○」を記入し、受講申込書と併せて提出してください。（全日程受講の場合、本調書は不要です。）
実技科目では、講師が対応できる人数に限りがございます。
選択受講の場合、実技科目を受講することはできませんのでご注意ください。

（2）なお、10 月 23 日「野生生物管理のための法律学」に受講を希望する方は、「オリエンテーション・アイスブレイク」にもご参加いただきます。
同様に、10 月 25 日「十勝の野生生物と管理」に参加を希望する方は、「閉講式」にもご参加ください。

日程		時間	講義名	講師	受講希望
10/23（水）	10:30～11:30		オリエンテーション アイスブレイク	帯広畜産大学　柳川久	
	11:40～12:40	1	野生生物管理のための法律学	帯広畜産大学　野原香織 十勝総合振興局環境生活課	
	13:40～14:40	1	野生生物捕獲法	帯広畜産大学　浅利裕伸	×
	14:50～15:50	1	データ解析入門	帯広畜産大学　赤坂卓美	
	16:00～17:30	1.5	十勝の野生生物と保全	帯広畜産大学　浅利裕伸 北海道ﾗﾌﾟﾀｰｺﾝｻﾍﾞｰｼｮﾝ　平井克亥	
	19：00～	情報交換会			
10/24（木）	8：00～12：00	4	野生生物調査法Ⅰ・Ⅱ	帯広畜産大学　浅利裕伸 帯広百年記念館　大熊勲	×
	13:00～14:00	1	野外調査のリスク管理	帯広畜産大学　浅利裕伸	
	14:10～15:40	1.5	獣害防除学	株式会社地域環境計画	
	15:50～17:50	2	インタープリター学	株式会社自然教育研究センター	
10/25（金）	9：00～10：00	1	野生生物の交通事故	北海道開発技術ｾﾝﾀｰ　野呂美沙子	
	10:10～11:40	1.5	外来生物と生物多様性	帯広畜産大学　浅利裕伸	
	12:40～13:40	1	希少植物の保全	帯広畜産大学　佐藤雅俊	
	13:50～14:50	1	水生生物の保全	NPO 法人環境把握推進ﾈｯﾄﾜｰｸ	
	15:00～16:30	1.5	十勝の野生生物と管理	帯広百年記念館　大熊勲 北海道総合研究機構　山口英美	
	16:30～17:00		閉講式		

合計　　科目